

令和二年度 入学者選抜〔推薦に基づく選抜〕

## 小論文

注意

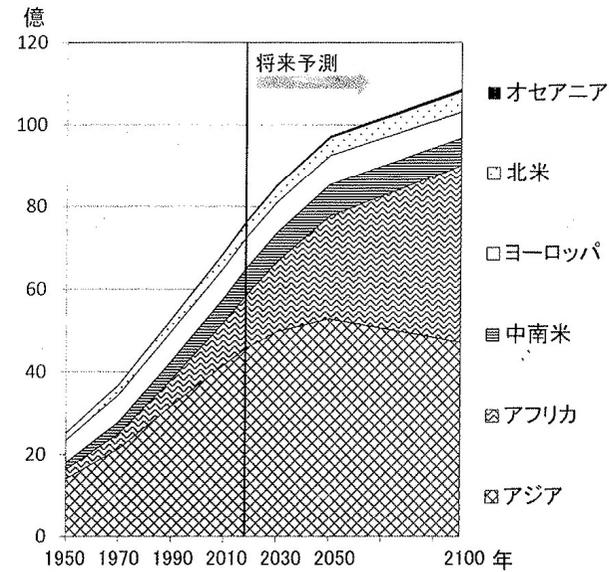
- 1 問題は **1** と **2** の2題あり、3ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は六〇分で、終わりは午前九時五十五分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 や。 や 「 などともそれぞれ一字と数えなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 7 下書きやメモはこの問題冊子の余白を利用しなさい。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

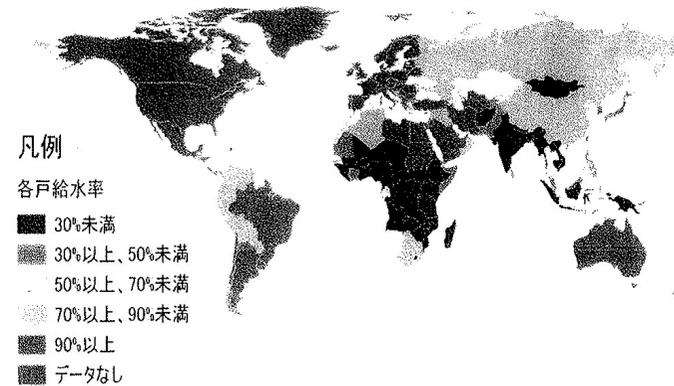


資料：国際連合広報センター SDGsのロゴから

※SDGs Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)。2016年から2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17の目標と、それを達成するための169のターゲット(より具体的な目標)を設定している。※ここでは17の目標を掲示した。



資料：国際連合「World Population Prospects」等より作成



資料：WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme(JMP)for Water Supply And Sanitation 等より

1

【資料1】から【資料3】はそれぞれ次のことを示したものである。  
 ◇【資料1】は世界人口の地域別の推移と将来予測  
 ◇【資料2】は2015年の世界の水道(各戸給水)普及率  
 ◇【資料3】はSDGs17の目標  
 【資料1】、【資料2】の2つから考えられる課題の解決は【資料3】のSDGs17の目標のうち6(安全な水とトイレを世界中に)の実現に結び付くだけでなく、6以外の目標の達成にも密接に関係する。  
 (1)あなたが考える6(安全な水とトイレを世界中に)以外に密接に関係するSDGsの目標を選び、その番号を解答用紙の上段にある番号欄に書きなさい。  
 (2)【資料1】、【資料2】の2つから考えられる課題と(1)で選んだ目標が密接に関係する具体的な理由、そしてその解決に向けて自分はどうにかかわっていくか三〇〇字以内で述べなさい。なお、段落構成は問わない。

2 次の文章は、二〇一六年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典氏と生物学者の永田和宏氏の対談の一部分である。その内容に  
触れながら、『知る』と『わかる』の違い』とはどういうことか、あなたの考えを五〇〇字以内で述べなさい。文章の段落は三段落か四段  
落とし、主張の説明として具体的な例を示すこと。

大隅 生命科学は自然の観察からはじまりますので、自分の回りにどれくらい自然が豊かにあるのかをまず見てほしいと思います。ただ、私  
がこのごろ危惧しているのは、情報がまわりに溢あふれていることです。たとえば、何かわからないことがあった時、コンピュータに向かえばイ  
ンターネット上にいくらでも情報がある。(注1)ウィキペディアの説明を読むと、なんとなくわかった気になってしまうことがあります。けれ  
ども、それで必ずしもわかったわけではない。大人になるとすぐわかったように振舞ってしまいますが、小さい子どもは「これは何？」「あ  
れはなぜ？」と納得できるまで疑問を發しますね。そうやって、人間は成長するものです。そう考えると、現代人は退化しているのかもしれ  
ません。「知る」と「わかる」は別物です。素朴に「あれ？」と思う心を持つと、いろいろなきが実際に楽しく見えてくるのではないかと思  
っています。

永田 確かに最近、疑問を持つてから、それが一体何なのかを知るまでの時間が極端に短くなっている気がします。今おっしゃったように情  
報の検索手段が發達しているので、疑問を疑問のまま温めている時間が少なくなっているのではないのでしょうか。

大隅 私は、すべてのことが「なるほど、こういうことだったんだ」と明らかにわかるまで、わかったとは思えません。酵母の(注2)オートフ  
アジーについてですら、今、ようやく三割くらいわかったかなという思いです。科学をつきつめると、確かに真理に近づいてはいくのですが、  
一つ解けたらまた次の疑問が湧いてくる。ある意味ゴールのないことを一生懸命やり続けるのが、人間の科学活動かもしれませぬ。

ですから、小さな問題を解いたらすぐ次の問題にとりかかるとはなく、自分がいつも立ち返ってみることのできる疑問を持つことが研究  
者にとって大切です。この問題を解きたいという意志があれば、たとえ多くの困難があっても解けるまではしつこく攻めてみようという気  
なるでしょう。

(池田理代子 平田オリザ 彬子女王 大隅良典 永田和宏(著)「続・僕たちが何者でもなかった頃の話しよう」による)

(注1) ウィキペディア ウィキメディア財団が運営しているインターネット百科事典。  
(注2) オートファジー 大隅良典氏が世界で初めて解明した、細胞中の一部の成分を膜で囲んで、分解、利用するはたらき。